



# 耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校  
学校だより 第48号  
文責 校長 川口 貴晴  
令和3年3月5日(金)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成

【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校

【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



# 中



## 3月のウエルカムボード完成!

## いよいよ公立高校後期選抜入試!



美術部作品



いよいよ来週、3月9日(火)と10日(水)は公立高校後期選抜入試、定時制課程選抜入試が実施されます。前期の試験で残念ながら悔しい思いをした人にとって、本当の勝負の2日間です。前期から約1か月、これでもかというくらいに努力を重ねたはずです。前期は前代未聞のような入試倍率でしたが、後期は例年通りの倍率になっています。チャンスと時間は誰にでも平等です。しかし、そのチャンスの活かし方、時間の使い方如何でついてくる結果が大きく変わってきます。

ぜひ、この週末をしっかりと過ごし、入試2日間に全集中で臨んでほしいと思います。

とは言いながらも、やはり健康管理が大切です。元気に試験会場に行かないことには話になりません。万全の状態ですべてに臨むことを最優先にして、残り3日間を過ごしてほしいと思います。



Do your best!  
You can do it!  
「人事を尽くして天命を待つ」です!

※入試に必要なものを週末に必ず確認・準備しよう!特に会場には時計がないので要注意!



## 本校の取組が新聞に掲載されました

本校と吉井北・吉井南両小学校で、今年度から始めた「乗り入れ授業」の様子が長崎新聞で紹介されました。小学生が中学校の雰囲気を知ったり慣れたりするのはもちろんですが、小中学校が連携して児童生徒の9年間の学びの継続性や学びの保障をするために始めた取組です。今年度が初年度のため、思い通りにいかないこともありました。徐々に軌道に乗ってきました。次年度は、さらにスケールアップして頑張ります。裏面に新聞記事を掲載します。新聞記事はすべて「2021年2月27日(土)付 長崎新聞 掲載」

今月も工夫を凝らした立派なウエルカムボードが完成しました。今月は、出逢いと別れの3月にふさわしい満開の桜と澄み渡るような青空に彩られた素敵な作品となりました。

1年間にわたり、本校の玄関を飾り、生徒や保護者の皆さまの目を楽しませてくださった美術科の山本範子先生と美術部員の皆さんには、心から感謝しています。

学校近くにお越しの際や生徒送迎の際には、ぜひ立ち寄ってご覧ください。※今回も「ゆんたん」「こころん」をさがしてみよう!





ながさきしんぶんジュニア版

# メクル

meQru

第527号  
2021年2月27日(土)  
毎週土日にのる

8528601  
長崎市夜里町3の1  
長崎新聞社  
メクル編集室  
meuru@nagasaki-np.co.jp  
TEL 095・846・9240  
FAX 095・844・2106



## 英語で「乗り入れ授業」

### 授業サンカン 今回は佐世保市立吉井北小学校



「How are you?」「I'm hungry!」。担任の巻澤弘隆先生のあいさつに、6年1組の子どもたちは元気に応じます。

授業では、教室前方のモニターに映し出された動画を使い、子どもたちは歌やリズムに乗ってたくさん英語や単語を発言、テンポよく授業が進んでいきます。今回は「want」の内容です。

「I want to go to Norway! (私はノルウェーに行きたいです)」「I want to see you (あなたを見たい)」。先生の問いかけに、子どもたちは元気よく答えます。

「I want to go to Norway! (私はノルウェーに行きたいです)」「I want to see you (あなたを見たい)」。先生の問いかけに、子どもたちは元気よく答えます。

2020年度から小学5、6年生で英語(外国語)を教科として学ぶようになり、佐世保市立吉井北小(堤祐子校長、76人)では、近くにある同市立吉井中(川口晴晴校長、158人)の先生がやってきて「乗り入れ授業」をしています。

乗り入れ授業の目的は、6年生が中学校の授業の雰囲気になれることや、小中の先生も児童が交流しながら連携を深めていくことだそうです。どんな取り組みなのか、授業をのぞいてみました。

久保先生は、小学生に授業をする中で伝えたかったことがありますが、それは「川本若菜さん(11)は「最初から英語の学習を楽しくやれそう。中学校のことをもっと知りたい」と笑顔。先生も「2回目となる今回が最後、お楽しみに」。

外国語の授業を行っている吉井北小学校と佐世保市立吉井中、市立吉井北小



### プログラミングも

小学校では新たにプログラミングの授業も始まっています。訪ねたのは、長崎市立伊王島小(大野美紀校長、13人)6年生理科の授業です。「ボタンが1回押されたら、明かりがつく」など、いろいろな条件で豆電球がいたり消えたりするプログラムを考えていました。併設している伊王島中の小野和彦先生の指導の下、6年生2人は自分たちのプログラムが指示通りに実行されるか確かめました。豆電球は点灯し、大成功! 「簡単ですごく面白い」と天渡 叶夢さん(12)。「川崎心音さん(11)は「プログラミングは初めてだけど、楽しかった」と話しました。



授業の最初に、巻澤先生が学習の流れを伝えます

### 自分の気持ち伝える表現学

授業の後半は、自分が中学校で入りたい部活動ややりたい行事を英語で書く活動です。職場体験で英語で何て言うんだろう? 「うーん、どの部活動にもうーん、みんなが書き込めたワークシートをのぞいてみる。最も人気があるのはバスケットボール部です。子どもたちからの質問やつぶやき、そしてそれに答える先生たちのアドバイスで、教室はにぎやかになっていました。

久保先生の乗り入れ授業、2回目となる今回が最後、お楽しみに」。

後、クラスを代表して西田 咲彩さん(12)は「英語は苦手だけど、中学生になったらもっと頑張りたい!」、松本 優奈さん(11)は「先生の話を聞いて、英語の授業が楽しくなった」と感じたことを発表しました。その様子を見守っていた巻澤先生は、中学校での英語の授業を楽しみに、吉井北小で一生懸命やっています。



久保先生(左)に「職場体験」って英語でどう表現するんですか?と尋ねる児童

学校だより「耕心」や本新聞記事のカラー版が本校のHPでもご覧になれます。どうぞ、本校HPをのぞいてみてください。学校に関するほかの情報も満載ですよ!